



第73回大島レース 帆走指示書

(変更反映済み)

2023年 関東トラディショナルシリーズ(KTS)第2戦

2023年5月27日~5月28日

- 【SP】は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することが出来る規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。この項は、規則60.1、63.1、及びA5 を変更している。
- 【NP】は、この規則の違反は、艇による抗議の根拠にはならないことを意味する。これは、RRS60.1(a) を変更している。
- 【DP】は、この規則は、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減出来る規則を意味する。

1 適用規則

- 1-1 セーリング競技規則(RRS) 2021-2024に定義された規則。
但し、日没後から翌日の日の出までの夜間は RRS第2 章に代わって海上衝突予防法を適用する。[DP]
- 1-2 外洋レース規則2009 (失格に代わる罰則の項 参照)
- 1-3 ORC Rating Systems 2023。但し以下の通り変更する。
(1) ORC Rule 201.2 を変更し、搭載する飲料物、燃料の量を制限しない。
- 1-4 IRC 規則 2023、および日本セーリング連盟 IRC 規定 (証書記載枚数よりも1枚追加されたスピネーカーの搭載を認める) [DP]
- 1-5 外洋特別規定 2022-2023【モノハル・カテゴリー3】及び付随する OSR 国内規定
- 1-6 第73回大島レース レース公示
- 1-7 第73回大島レース 帆走指示書。ただし公示と帆走指示書との間に矛盾が生じた場合は本帆走指示書を優先する。

2 競技者への通告

- 2-1 競技者への通告は、大島レースホームページに掲載する。
(URL <https://www.hmyc.or.jp/oshima>)
- 2-2 通告を海上でおこなう場合は本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

3 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書の変更は2023年5月27日(土)09:00までに大島レースホームページに掲載する。
- 3-2 帆走指示書の変更は海上でL旗を掲揚した本部船より口頭で行うことが出来る。

大島レースホーム
ページURL

4 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5 レースの日程

- 2023年5月27日(土) 10時45分 チェックイン締切り
2023年5月27日(土) 10時55分 予告信号
2023年5月28日(日) 16時00分 タイムリミット

6 レースの成立

タイムリミット内に1艇でもフィニッシュした場合に、レースは成立する。

7 クラス旗及びレース旗[DP]

- 7-1 参加艇が掲げるクラス別の識別旗は、特にこれを定めない。
- 7-2 各艇はレース中、レース旗を掲揚すること。
レース旗は上からJSAFバージ（小）、外洋レース旗の順に掲揚していること。
- 7-3 レース旗は自艇がチェックインを受ける時点からレース終了時まで掲揚すること。レース旗の下端はデッキより1.5 m以上の高さで掲揚する。

8 コース

葉山沖 → 初島（反時計廻り） → 大島（反時計廻り） → 葉山沖（フィニッシュ）
距離 91マイル（成績算出に使用する）

9 マーク

スタート時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
フィニッシュ時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
尚、夜間はこのブイ上部に黄色のフラッシュライトをセットし明滅させる。

10 チェックイン[SP][NP]

参加艇はスタート予告信号10分前までに、JSAF大旗とL旗を掲揚している本部船の船尾をスターボードタックで通過し、艇名、セールナンバー、乗員数を本部船に伝え出走の確認を受け、同時に本帆走指示書20-1に定める動作をすること。

11 スタート

- 11-1 RRS26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前としスタートさせる
- 11-2 予告信号旗はSORC大バージを使用する。
- 11-3 スタートラインはスターボードの端にあるスタートマーク（本部船）上にJSAF大旗を掲揚しているポール（マスト）とポートの端のスタートマークの間とする。
- 11-4 スタート信号の30分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。
（RRS A4の変更）
- 11-5 スタート信号時に、艇体がスタートラインのコース・サイドにある場合、または規則30.1に従わなければならない艇が特定された場合、音響1声とともにX旗を掲揚する。
レース委員会は同時に国際VHFチャンネル72でその艇のセール番号を送達するよう試みる。
送達の有無や送達時間の的確性に対しては救済要求の根拠にはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

12 フィニッシュ

- 12-1 フィニッシュラインはフィニッシュマーク上にJSAF大旗を掲揚している本部船のポール（マスト）とポートの端のフィニッシュマークとの間とする。
本部船のおおよその錨泊位置は 北緯35度16.62分、東経139度32.89分（葉山新港の赤灯を60度(MAG)、距離約0.9NMに見る位置)である。
日没後は本部船のマストに“赤色灯縦2つ”を点灯する。不測の事態が生じて本部艇が赤橙を点灯できなかった場合は、艇からの救済の根拠とはならない。
- 12-2 夜間のフィニッシュはフィニッシュ後に速やかに本部船に口頭または国際VHFで自艇の艇名とセール番号を申告すること。
- 12-3 荒天やその他の理由で本部船が出航できない場合、或いは錨泊できない場合は、フィニッシュラインを葉山マリーナイエローハウス2FにJSAF大旗を掲揚したポールと、12-1で示した本部船錨泊予定位置近傍に設置されたフィニッシュマークの間とする。
- 12-4 上記の場合(本部船がフィニッシュラインにいない場合)、艇はフィニッシュ時刻及び近くの艇の関連順位を、最初の妥当な機会にレース委員会に報告すること。（RRS付則LG 14.2）

13 レースの中止

荒天等の理由でレースの中止をする場合は2023年5月27日08:00の時点でレース委員会が判断する。告知は大島レースホームページに掲載する。参加艇にはレース委員会から可能な限り連絡を取る。

14 ペナルティーの方式

- 14-1 スタート時 OCSと記録された艇には失格に替わる罰則として所要時間の5%をタイムペナルティーとして加算する。(RRS A4の変更)
- 14-2 定められたチェックインを行わなかった艇はSPとして3分をタイムペナルティーとして加算する。
- 14-3 定められたロールコールを行わなかった場合はSPとして一回につき3分をタイムペナルティーとして加算する。
- 14-4 定められた帰着申告を行わなかった場合はSPとして3分をタイムペナルティーとして加算する。
- 14-5 DPについては、ワールドセーリングの指標に基づいて対応する。
- 14-6 その他、公示、帆走指示書に記載ない内容の違反についても、プロテスト委員会は、その裁量によりそのペナルティーを失格より軽減することが出来る。この場合も、ワールドセーリングの指標に基づき対応する。

15 タイムリミット

2023年5月28日(日) 16:00 (RRS35の変更)

16 日没、日の出の公式時刻

日没時刻 : 5月27日(土) 18:48

日の出時刻 : 5月28日(日) 04:28

17 帰着申告[NP]

- 17-1 参加艇はフィニッシュ後2時間以内にレース報告書並びに航跡図に必要事項を記載した帰着申告書をレース本部に提出しなければならない。Eメールによる提出も可とする。Eメール送付先はoshima_rc@hmyc.or.jpである。
- 17-2 GPSで航跡を記録した場合、航跡図はGPSの航跡データの提出を条件に23-2で規定する初島および大島回航時刻を記載するのみで可とする。

18 抗議と救済の要求

- 18-1 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合にはフィニッシュ時に本部船にその旨を伝えること(RRS61.1の変更)。
- 18-2 抗議の締め切り時間は自艇のフィニッシュ後3時間以内とする。
- 18-3 抗議に関わる事項は抗議締め切り時刻後1時間以内に大島レースホームページに掲載する。また各艇へ電話で連絡するがこれはサービスである。
- 18-4 抗議書の提出はEメールでも可とする。Eメール送付先はoshima_rc@hmyc.or.jpである。

19 安全に関する参加艇の遵守事項[DP][NP]

- 19-1 JSAF外洋特別規定2022-2023【モノハル・カテゴリー3】の要件を満たしていること。
- 19-2 艇とレースコミッティー間の通信手段は携帯電話を使用する。下記の条件を満たした携帯電話2台以上を搭載していること。
- 19-3 参加艇はやむを得ない場合を除いて、レース中はライフジャケットを着用すること。(RRS40の変更)
- 19-4 無線通信に関してはいかなる通信形態・情報も制限しない。これはRRS41の外部の援助に該当しない。
- 19-5 出艇申告後にスタートをしなかった艇及びレースを棄権した艇は直ちにレース本部まで連絡しなければならない。その連絡は艇の責任者が行い、第三者に伝言を託してはならない。
- 19-6 乗員及び艇の安全に関わる場合は、エンジンの使用を認める。(RRS42.3(i)の適用)
この場合、当該艇はフィニッシュ後、レース委員会にできるだけ速やかに書面で、エンジンを使用した理由、日時 使用した時間等の状況を報告すること。

20 乗員、装備及び計測のチェック（インスペクション）[NP]

- 20-1 [DP]艇は本帆走指示書10項に定めるチェックイン時にライフジャケットの着用とハーネスの携帯の確認を受けること。
- 20-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、レース前の艇が本帆走指示書10項で定めるチェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に抽出した艇に対して、随時にインスペクションを実施することができる。

21 乗員の変更

申告書に記載された乗員の変更は、下記時間内に書面(Eメールへの添付)で行うこと。

申込み時～5月27日 22時迄 **Eメール: oshima_rc@hmyc.or.jp**

5月27日 22時以降～出港時 : 本部船に書面で提出またはEメールで通知すること。

22 支援艇[DP][NP]

いかなる支援艇及び支援要員も予告信号以降、レース終了又は延期、中止となるまで全ての参加艇に近づくことを禁止する。又、運営に支障をきたす行為も禁止する。
違反した場合は支援艇に関連した艇が抗議の対象となる。

23 ロールコール[SP]

23-1 (定時の報告)定められた時刻に参加艇はレース本部に向けて通話又はロールコール送信フォームで報告すること。

その時刻は、18:00、06:00、12:00 である。

レース委員会は、話中などによる接続不調を避ける為、ロールコール送信フォームによる送信を推奨する。

23-2 (回航時刻の報告)参加艇は初島西岸の「初島フィッシャリーナ」をMag90度に見たとき、および「大島竜王崎灯台」をMag0度に見たときの時刻を、そのつど出来る限り速やかにレース本部に通話で報告すること。

23-3 参加艇はフィニッシュ1時間前コールを通話でレース本部に連絡すること。

23-4 ロールコールでは次の内容を報告すること。

①自艇の位置、②艇及び乗員の状況、③風向、風速、艇速

レース本部 電話番号 **090-3687-3420**

23-5 各艇が行うロールコールの方法は、別に定める通信に係る運用マニュアルに従うこと。



ロールコール
送信フォーム URL

24 順位 成績

24-1 ORCクラスはパフォーマンスカーブシステム(PCS OFFSHORE)により修正秒(CT)を算出する。

24-2 IRCクラスはタイムオンタイムにより修正秒(CT)を算出する。

24-3 CTで同順位の艇が存在する場合はレーティングの低い艇を上位とする。

25 賞

賞は次の通り

- ・ ORC クラス1位の艇
- ・ IRC 各クラス1位、2位 3位の艇
- ・ ファーストホーム賞
- ・ その他 主催団体の意を汲み、実行委員会が後日定める特別賞。

26 表彰式

別途通知する

27 リスク・ステートメント

RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

28 問合せ

問い合わせ・質問は、艇名・質問者氏名・日付を明記し、Eメールでできるだけ箇条書きで願います。質問内容と回答は参加申込み者（連絡責任者）にEメールにて回答する。また質問の内容によっては大島レースホームページに開示する。

メール	: oshima_rc@hmyc.or.jp
大島レースホームページ URL	: https://www.hmyc.or.jp/oshima

以上